



研究者紹介 私の研究



動物
研究部

陸生無脊椎動物研究グループ

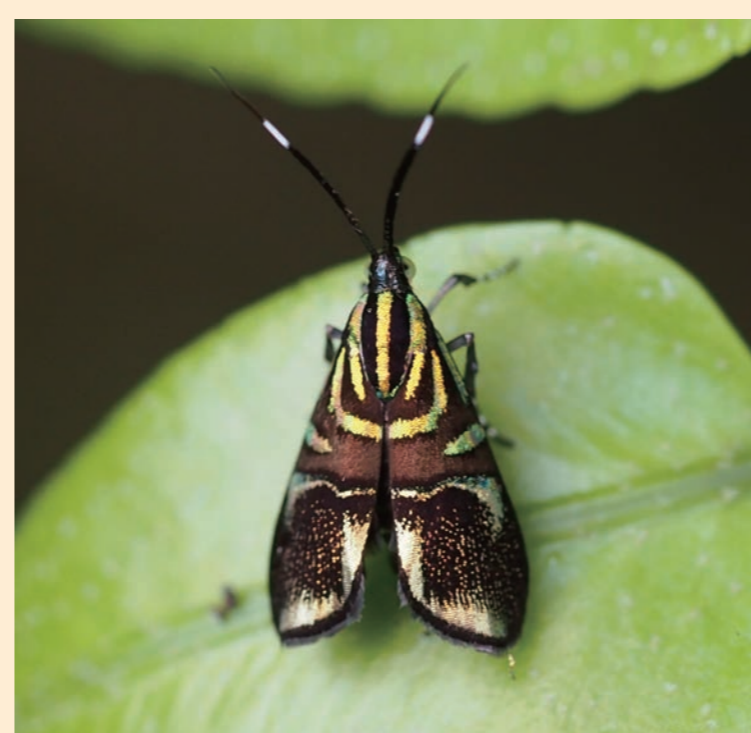
じんぼ うつぎ

神保 宇嗣 研究員

『小さなガからみる
生きものの多様性』

■小さな宝石「小蛾類」

ガのなかまは、日本からだけでも 6,000 種が知られており、色々なかたち、色々な生き方をしているものがあります。中でも私が研究をしている小さなガは、ハネの長さが数センチから2ミリ程度までいる仲間、よく見ると宝石のようにきれいな種類もたくさんいます。このような仲間には、日本からもまだ知られていない種類がたくさんいます。私は、そのような小さなガの仲間の分類を中心とした研究を行っています。



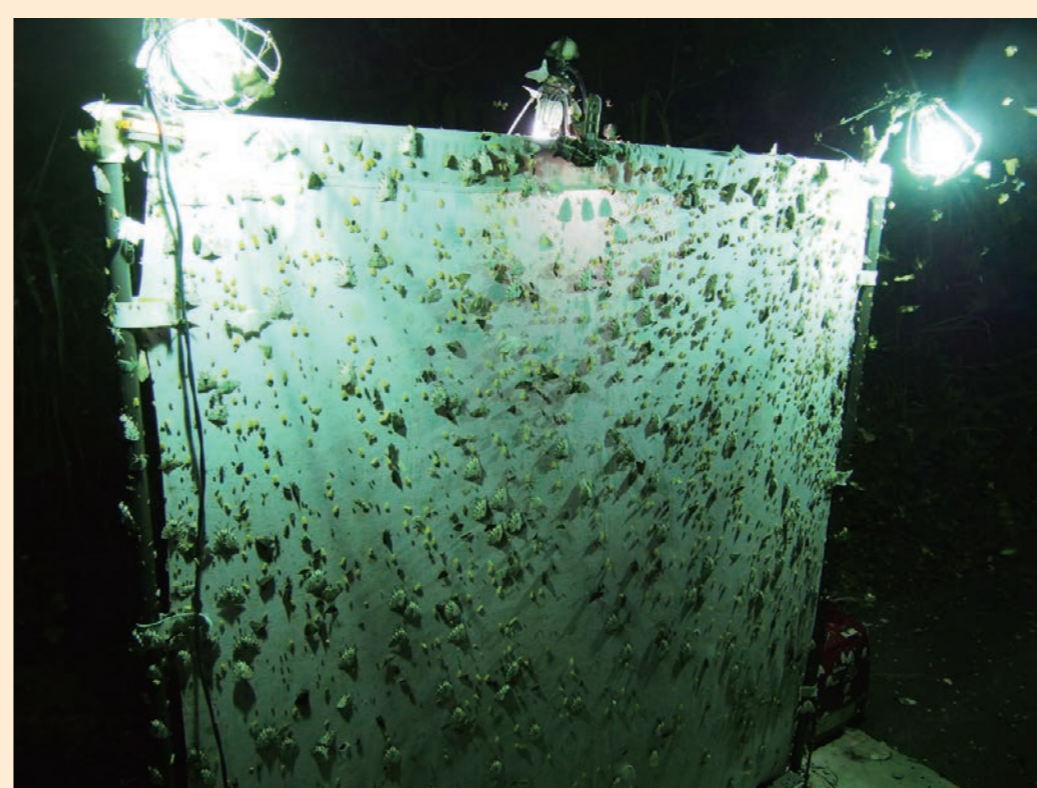
沖縄で出会ったイヌビワオオハマキモドキは昼間活発に飛び回るきれいな小蛾



非常に小さなハマキガ科の未知種
ハネを広げて5ミリ程度、トカラ以南の琉球列島で見られる

■野外調査の日々

野外調査は、日本を中心として、アジア地域、ときにはアメリカでも行っています。小さなガの中には昼間飛ぶ種も、夜間に灯りに集まる種も両方いるので、調査は昼も夜も行います。また、研究上も重要なきれいな標本を作るために、野外調査の際には標本を作る道具を持って行き、宿舎で標本にします。夜中までかかることも多く、寝不足になることもしばしばです。



沖縄やんばるの原生林での灯火採集では非常にたくさんのガが灯りにやってきた



採集したサンプルは、ハネを広げる特殊な道具(展翅板)で標本にしたり、簡易整形してから博物館に持ち帰る

■研究のすそ野を広げる

ガはとても身近な生き物ですが、研究している人は少ないので、情報を集めるのが大変です。私は、インターネットを通じてガの情報を集めるプロジェクト「みんなでつくる日本産蛾類図鑑」に管理者として参加しています。身近にいる種類の季節のうつろいがわかったり、意外な種類の発見などがあり、研究の上で役立つことも多いですが、なによりも、みなさんが自然に興味を持つきっかけになればと思っています。



「みんなでつくる日本産蛾類図鑑」
ガの写真を持ち寄って図鑑を作るプロジェクト
<http://www.jpmoth.org/>

| List-MJ 日本産蛾類総目録 | Family Tortricidae ハマキガ科 |
|---|---|
| (大図鑑体系) | Subfamily Tortricinae [in MJ] ハマキガ亜科 [大図鑑] |
| はじめに このリストについて List-MJの2つの体系 What's New? | [0079] <i>Eurypena advena</i> Filipjev, 1930 ヒロバビロードハマキ |
| What's New (2007年分) | [0080] <i>Cerace sandhosioma</i> Diakonoff, 1950 ビロードハマキ |
| What's New (2008年分) | [0081] <i>Cerace ornatus</i> Walker, 1851 ニセビロードハマキ |
| What's New (2009年分) | [0082] <i>Pandemis corymba</i> (Fabricius, 1794) ウスアミトビハマキ |
| What's New (2010年分) | [0083] <i>Pandemis cineromomana</i> (Treitschke, 1830) アカトビハマキ |
| What's New (2011年分) | [0084] <i>Pandemis chlorograpta</i> Moysich, 1931 クストビハマキ |
| What's New (2012年分) | [0085] <i>Pandemis kaperana</i> (Dennis & Schiffmiller, 1975) トビハマキ |
| What's New (2013年分) | [—] <i>Pandemis ignoscana</i> (Kuznetsov, 1976) オビゴロハマキ |
| References | [0086] <i>Pandemis monticola</i> Yasuda, 1975 ヤマトビハマキ |
| 前体系へ | |

「日本産蛾類総目録」
日本産のガの名前をまとめたリストで、現在改訂版を作成中
<http://listmj.mothprog.com/>

| 研究員に聞いてみました！

1) 専門は何ですか？

ガの仲間の分類学と生物多様性情報学です。分類は、ハマキガ科という小さなガの仲間を中心に研究しています。生物多様性情報学は、生き物の情報を様々な情報技術を使ってまとめたり活用する方法を探る学問です。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

学生の頃から虫、特にチョウやガの仲間が好きで、虫のことをもっとよく知りたい、皆さんに知ってもらいたいと思っているうちに、今になってしまいました。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

台湾のブナ林での調査です。短い期間でしたが、日本や大陸のブナ林と関連している要素をいくつも見つけることができました。今後の研究が楽しみです。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

自分の好きなこと、やりたいことを大事にしながら、色々なことに挑戦してみてください。一見すると研究と全然関係ないことも、あとになって役に立つことが多いです。

